

# 西 ～にし～

Good News

## ■八王子桑志高等学校「令和5年度文化芸術による子供育成推進事業」

令和5年7月11日（火）と12日（水）に、本校1年生を対象に、生徒の豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的とした、文化庁の事業である「文化芸術による子供育成推進事業」を実施しました。

今回、三重県の伊勢型紙という、着物や帯を染めるための道具を用いて、愛媛県の五十崎（いかざき）和紙のはがきに、「将来の自分」を作品のテーマに、生徒が自分の思いを染めていきました。その後、各グループに分かれて、各自が作品に込めた思いを発表しました。

発表の中では、「はがきの下に、安定を表した緑の草を描いた。また、上に2つの円を描いたが、円の色は自分の好きな色である。その円の中を飛んでいる鳥は自分である。安定した環境の中で、自分の好きなことをやっていたいという思いで描いた。」「はがきの下に描いている山は壁である。山に日が沈む様子を描いた。鳥を明るく描き、前向きに乗り越えていきたいと思った。」など、生徒一人一人が将来への思いを語りました。互いの発表を真剣に聞きあう姿が印象的でした。

本校生徒たちは、職人が今も実際に使用している伝統的な道具に触れ、オリジナルのはがき作りを通して感じたことを言語化する機会を設けることで、豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力を伸ばすことができました。また、原材料や道具の背景にある日本の自然や伝統を学ぶとともに、映像を交えながら伝える体験は、日本の伝統工芸への興味関心へとつながり、とても有意義な活動となりました。

（副校長 稲垣 哲人）



作品づくりの様子

配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)